

病院の実力

2020総合編

読売新聞医療部【編】

回復期リハビリテーションの
先進医療

広告特集

2020年2月17日発売
「病院の実力」に掲載



医療法人社団協友会

横浜なみきリハビリテーション病院

〒236-0005 神奈川県横浜市金沢区並木2-8-1 TEL.045-788-0031

<http://www.ynrh.jp>



横浜なみき リハビリテーション病院

<http://www.ynrh.jp>

良質で多種多様なリハビリを実施し 「頼り頼られる病院」を目指す専門病院



横浜なみきリハビリテーション病院は、1986年に屏風ヶ浦病院として誕生し、2012年に現在の金沢区並木に移転し名称を変更した。回復期リハビリテーション病棟として、横浜市では特により病床数となる144床、障害者病棟44床、医療療養病棟36床の計224床を有する。同院は、地域の高度急性期・急性期病院と密な連携を行い、回復期リハビリ病院として頼り頼られる存在になっている。また、外来・通所・訪問と包括的なリハビリの提供を地域においても、いち早く開始している。リハビリは、脳卒中や骨折の術後の他に、パーキンソン病などの神経難病も含めた、回復期・生活期・終末期など様々な病態の患者さんに対し、多岐にわたる。同院にはリハビリの質を保つために、常勤医8名、理学療法士61名、作業療法士39名、言語聴覚士24名、



院長・脳神経内科
阿部 仁紀

●あべ・よしのり／福島県立医科大学医学部卒業、福島県立医科大学大学院卒業。医学博士。日本神経学会認定神経内科専門医、日本神経治療学会評議員。横浜市立大学非常勤講師。日本脳卒中学会認定脳卒中専門医。日本リハビリテーション医学会会員。

患者一人一人に合ったリハビリを 全職種が一丸となって実践

同院は、全てのスタッフが1つのチームとなって患者さん一人ひとりの病気を理解し、適切な対応を取れるように努める『全職種連携によるチーム医療』を実践。「例えば疾患ごとに異なる患者さんの動作を全職員が正しく理解し、患者さんにストレスを与えないように努めます。適切な対応を取れるように当院では、研修・教育にも力を入れていきます」と阿部仁紀院長は語る。また患者さんに接する際に感謝や評価をされることが、職員の仕事のやりがいとなっているという。理念として掲げる患者・家族、職員、病院、地域から「頼り頼られる病院」の実現のために、同院は日々努力を重ねている。

ソーシャル
ワーカー10
名と豊富な
スタッフが
集結し、質
の高いリハ

Hospital Data



医療法人社団協友会
横浜なみきリハビリテーション病院

神奈川県横浜市金沢区並木2-8-1
TEL.045-788-0031

診療科目
内科・脳神経内科・リハビリテーション科